

みちまちみどり

Michi Machi Midori

特集 はじめてのみどり
これからのみどり

Vol.28



ひとみどり



水やり大好き!

デイセンター山びこ・ワークセンター大地の皆さん

花壇の水やりと公園清掃等を行っている
障害者のグループによく出会う。

デイセンター山びこの利用者さんたちがけやきコミセンで
水やりの手伝いをはじめて10年くらい経つ。
「お水あげるからね～」と花ごとに声をかけ、表情も豊か。
夏のこの水やりの日はことのほか嬉しそう。

ワークセンター大地の方々とは市から
公園や緑地の掃除を任されている。
週2日、コースを変えて市内の公園や緑地を回りながら、ごみを探す。
桜の花が咲いたね! アジサイが咲いたね!
と季節の変化にも敏感。

公園や緑地が、誰にとっても居やすい場所であるとともに、
誰もがそれを支える担い手にもなるという
多様な視点も必要だと感じた。

(社会福祉法人武蔵野 理事長 安藤真洋さんに伺う)



※本人、保護者に写真掲載の許可を得ています。

むさしの緑・環境の情報誌

みちまちみどり Vol.28

発行 武蔵野市
製作 一般社団法人 グリーンボード

●商用・非商用を問わず、無断転載・複写・転用を禁じます。

表紙の写真 ●花壇の手入れをする市民と、アサガオの手入れをする武蔵野市立第四小学校の1年生。

はじめてのみどり——「生活の木」の薬香草園やっこうそうえんに学ぶ。

暮らしの中で、役立つ“みどり”



ライフスタイルに“みどり”といっても、ガーデニングが趣味だったり、山野草が好きで山を歩くような人にはふつうのことなのですが、都会で生まれ育ち、土いじりに親しんでいなかったりしたら、実はなかなかハードルの高い話です。さて、庭をどうしよう？ 植木屋さんなんてお願いしたことないし、花壇って自分で作れるのかしら？ そもそも集合住宅だけど、うちのベランダってプランターの置き、大丈夫かなあ：：などなど、いろいろと悩んでしまいます。

でも、最初から本格的に取り組まなくても良いと思います。大切なのは、それが自分のライフスタイルに合っているかどうかでしょう。暮らしの中に“みどり”を上手に取り入れることができれば、そこから長く、楽しい付き合いがはじまります。なにしろ、はじめてのみどり、なんです。から、小さく取り組んだらいいのではないのでしょうか。

そこで、身近に取り入れやすいハーブのことを知りたくて、オーガニックハーブや精油、植物油などを専門に扱う「生活の木」のメディカルハーブガーデン「薬香草園」を訪ね、いろいろと教えていただきました。

この「薬香草園」は、古代から人類が健康のために利用してきた大地の恵み「メディカルハーブ」を中心に、その本来の用途を意識した新しいスタイルのハーブガーデンです。つまり、私たちの日常の暮らしに役立つハーブにまつわる情報発信の場です。

埼玉県飯能市は、武蔵野市からは少しばかり遠出になりますが、はじめて“みどり”を育ててみようと思う人には、役に立つヒントがいっぱい。四季を通して200種ものハーブが広々とした庭園で育てられ、敷地の一角には採集したハーブを活かしたレストランや、ベーカリー、精油やオリジナルの石鹸などが並ぶショップ、さらには本格的に学べるハーバルライフカレッジや、アーユルヴェーダ（スリランカの伝承医学）のサロンまであります。

園内は自由に散策できますが、予約制のガーデンツアーや、さまざまなワークショップもあるので、調べてから出かけるのがおすすめです。



薬草の丘では効果、効能別にハーブが植栽され、「なるほど!」と思わせられたアイデア展示が。



西武池袋線「飯能」駅から美杉台ニュータウン行きバスで数分。オープン10時から、レストランメディカルハーブハウスなどが18時まで、ショップは18時30分まで。祝日をのぞいて月曜定休。メディカルハーブハウスは季節によって営業時間が異なる。

埼玉県飯能市美杉台1-1
TEL:042-972-1787



傾斜地を生かした庭園には、ベンチもいくつか。腰を下ろせば、日常を忘れる景色と豊かな香りに心が洗われる。

まず行きたいのはこのメディカルハーブハウス。さまざまな種類の苗を、小さなポットで買って、連れて帰れる。



さて、はじめての訪問でも見逃したくないのは、こちらのメデイカルハーブハウス。育て方から上手な利用法まで、いろいろと説明を聞きながらハーブの苗を選んだり、朝摘みのフレッシュなハーブティーを楽しむことができる温室です。この日はラベンダー、ローズマリー、レモングラスやミントで、初心者でも失敗しないアイスハーブティーの作り方を教えてもらいました。ポイント「ハーブティーをゆすらないこと」で、急がず焦らずちゃんと待てば、豊かな香りと爽やかな風味が楽しめます。

毎日の暮らしにちゃんと役に立つ「みどり」の楽しさ……はじめてみたくありませんか？



「けやきコミセンの花壇を守る、安藤領子さんの30年。」

私たちのまちの「一品」は「みどり」とはな「だ」と思ったの！

吉祥寺北町のけやきコミセン
—— 吉祥寺北町のけやきコミセン
テイセンターには、素敵な花壇がある。守り人のひとりの安藤領子さん。日課の草取りの最中、地域の方について話していただいた。

けやきコミセンができて、もう少しで30年でしょ？ その前の計画にかけた時間が、7年間。でも、それがよかったと思っているの。この地域はグリーンセンターの問題や、子どもが増えて高校の増設問題があったて、市民が話し合う機会が多かった

のね。住民の間ではコミニティセンターが欲しいと思っていたけど、なかなか決まらず、市ともすいぶん話し合ったのよ。最終的に場所が決まって、どんなコミセンにするか、みんな考えたのよね。

地方のコミニティだと、田植えや、家の修繕などで一緒に作業しながらままとまっていけれど、この地域がまとまるためにはどんなことができるだろう——と考えたのよね。もちろん資源回収や福祉を通してのつながりはあったんだけど

ヘメロカリス、アガパンサス、ジニア、コリウス、ルドベキア、ガウラなど夏の草花がゆったり植えられ、避暑地のような雰囲気を感じ出す安藤スタイルのガーデン。



ハーブの初心者向けの本をコピス
吉祥寺のjung堂書店 吉祥寺店
実用書担当 小峰礼子さんにご紹介
いただきました。



はじめての園芸シリーズ ハーブ (プチブティックシリーズ)
価格 600円 (税込) ブティック社



ここからだに
薬用ハーブの贈り物
Birthday Herb
価格 1404円 (税込)
朝日新聞出版



自分でハーブを育て、
暮らしに活用する
ために役立つ本
価格 1296円 (税込)
主婦の友社



育てて楽しむ
はじめての
ハーブ
価格 1404円 (税込)
家の光協会

種から育てる簡単キットで
キッチンに小さな畑を！



毎日の料理や来客のもてなしに、庭で育てた野菜や香草を採ってサッと使う——そんな憧れのライフスタイルが、誰でもできるキット。しかも、すごくコンパクト！この「ハーブ&ベジS」は、キッチンで育てる缶入りの畑。左からコリアンダー、ペパーミント、イタリアンパセリ、スイートパジルの4種類で、いずれも580円とお手ごろな価格。サラダやパスタ、ハーブティーなど、フレッシュな味と香りが楽しめる。お問い合わせは ナガクラ (☎0422-60-2460) まで。



ど、そのころちょうど「一村一品運動」というのがあって、武蔵野の一品ってなんだろう、と考えて、それが「みどりとはな」だと思ったわけ！
それで、緑や花を育てる作業と一緒にすることで、地域みんなもつながることができたみたいね。ま、コミニティには花は必要ない——というところで、はじめ予算は付かなかつたんだけど(笑)自分たちでできることのでんばったのよ。

それが結局いいアイデアでね、種から育てた苗を植えたり、花の鉢を道から見るところに出そうというイベントなんか、けやきコミセンの呼びかけで広がっていったの。楽しかったわ。いろいろ難しいこともあったけど「偉い人を作らない」を言葉に、多くの人が関わることでできた。まちづくりって、想いを共通の言葉にしていくことも、大事よね。

扶桑通り沿いに竹中工務店の社宅ができることになり、こわごわ東京本社にうかがったの。思い切って「周りの塀を下げてもらえないか」と話したら、ビックリするほど「わかりました！」と返ってきて、接道部をセットバックして花壇を作ってくれたのよ。あの時の対応には、本当に感謝していて、だからそれ以来、ずっとこの花壇を手入れしているの。今は相棒もいて、通りがかりの人も良く声をかけてくれてね。
挨拶が多くて立ち話ができるまち、が(はい)まちだと思ってるの。そういう意味では、いつも月曜日にここで私たちが作業をしているから、わざわざここを通って話している人も多いのよ。ふらっと来て、話ができるのって、楽しいわよ！ あとどのくらいできるかな……と、思っ、少しずつ宿根草や灌木を多くしているの。(談)

—— ガウラ(ハクチョウソウ)やベルガモットがゆらゆらとそよよ自然な植栽の花壇は、草花だけでなく、人や地域を優しく育ててくれる。

武蔵野市のこれからの“みどり”を考えてみる!

都心の“みどり”の創出は様々な手法が取り入れられており、新しい景色が見られます。「みどり・環境」はこれからのまちづくりには欠かせない大きなテーマです。そこでみどりの新しい事例を見学してきました。コンパクトな地域に商業地、住宅地、公園、農地、水辺、農地など多様なみどりがある武蔵野市。「これからのみどり」はどのようなスタイルがいいのでしょうか?

なんばパークス 南海電気鉄道株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目



ビルの谷間に広がる緑の丘陵のような、なんばパークス。

大阪球場の跡地にできたなんばパークス。都心のビルの間に段丘状の庭園が柵田のように広がり、「緑との共存」をテーマに2007年に全館開業、10年を経てご覧のようなみどりの風景になった。階段の多い植栽があり、登りながら鳥のさえずりや水音を聴くこと、ビルの谷間にいることを忘れる。パークスガーデンにはガーデナーが常駐し、みどりの手入れをするだけでなく、「魅せる管理」でお客様へのおもてなしも仕事として捉え、会話の内容を分析、商業施設の集客力に繋がっているとのこと。都心に雄大なみどりの丘陵と細やかな管理は新たな都市風景の可能性を感じさせる。



虎ノ門ヒルズ 森ビル株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目



写真は環状2号線の上にあるオーバル広場。ヨガのイベントに多くの人が集まる。

森ビルが理想としている都市はみどりに覆われた「Vertical Garden City」立体緑園都市。そこに人々の暮らし、日々の営みを支え、育むことだという。「虎ノ門ヒルズ」は、道路上空に建築物を建てる「立体道路制度」を活用して建てられた超高層タワーで、約6000㎡の大規模なオープンスペースには生物多様性に配慮した豊かな植栽の緑地空間を創出している。緑地として環境配慮に加え、イベントにも利用され、地域のコミュニティや賑わいの空間としても活用されている。

第5期 武蔵野市緑化・環境市民委員会提言書と武蔵野市景観ガイドラインを発行しました。



第5期 武蔵野市緑化・環境市民委員会提言書

発行日 2017年3月

編集 第5期武蔵野市緑化・環境市民委員会
発行 武蔵野市



武蔵野市景観ガイドライン

発行日 2017年4月

編集 武蔵野市都市整備部まちづくり推進課
発行 武蔵野市

みどりあふれるまちといわれる武蔵野市で見られる風景 ～あらたなアイデアが求められる～



ビルの谷間のみどり

寺社のみどり

集合住宅の接道部のみどり

川沿いの緑地



住宅地のみどり



公園のみどり



農地のみどり



天然記念物の大木



登校するとすぐに自分のアサガオの世話をする1年生。

「おおきくなれ わたしのはな」
 さくはなのよろこび
 武蔵野市立第四小学校では雨水を使って1年生がアサガオを育てることが今年から始まった。単元名「おおきくなれ わたしのはな さくはなのよろこび」という生活科のプログラム。1年1組の担任の先生によると「花が咲いたよ！」

「おおきくなれ わたしのはな」
 さくはなのよろこび

おみずたくさんあげないと！と、児童もぐんぐん育つアサガオの世話を楽しんでます」とのこと。7月からは「雨水を打ち水にも使い、爽やかな夏の朝の風物詩となれば」と榛原校長は話す。



アサガオは武蔵野市民の花です。

雨水貯留タンクを設置した武蔵野市 環境部 下水道課より



武蔵野市では、集中豪雨がもたらす浸水などの都市型水害の軽減や、水循環の改善、水環境の保全など様々な事業を実施しています。その1つとして、公共施設に雨水貯留タンクを設置しているところです。草花への水やりや打ち水などで雨水の利用体験を通して、子どもたちに水の循環に興味を持っていただけたらと考えています。

また、個人住宅等への雨水貯留タンク設置には助成制度がありますので、是非この機会に設置してみたいはいかがでしょうか。

問い合わせ 武蔵野市下水道課 ☎0422(60)1867

※本人・保護者に写真掲載の許可を得ています。

子どもたちが 雨水を使ってみどりを育てる

武蔵野市立第三中学校・武蔵野市立第四小学校の場合

校庭に雨水貯留浸透施設が埋め込まれるなど、学校が水環境・水循環の課題解決の拠点として考えられている。子どもたちが雨水の利用をする姿は新しい武蔵野の風景に……



雨水貯留タンクを設置してからは水やりがしやすく、花が活き活きしている。

武蔵野市立第三中学校 園芸ボランティア部



下水道施設が設置されている東町1丁目地域にある武蔵野市立第三中学校では、2011年から雨水貯留タンクを、園芸ボランティア部の活動に使っている。河合校長は、このタンクが設置されたことで、生徒が地域の水の循環を意識する、きっかけになっていると話す。タンクの雨水が無くなり水道水から水やりをする、「もったいない気がする」との声も聞かれるという。ポーチュラカやヒヤクニチソウなどが育ちはじめ、夏の花壇にも雨水が活躍しそうだ。

環境部各課の情報



●環境政策課 (☎ 0422-60-1841)

法が定める生物多様性地域戦略として、私たちが生物多様性の恵みを持続的に受け続けるために、本市の生物多様性に関する大きな方向性を示すものとして「武蔵野市生物多様性基本方針」を策定しました。この方針では、武蔵野市の生物多様性の特徴をはじめ、その保全に向けて私たち一人ひとりができる身近な取り組みの例などを紹介しています。市のウェブサイトで公表しているほか、環境政策課でも配布していますので、ぜひご覧ください。

●ごみ総合対策課 (☎ 0422-60-1802)

携帯電話・デジカメ等の小型家電製品には金銀などの貴金属や銅などの希少金属が含まれています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」として、金銀銅の各メダルを、全国から集めた不要な小型家電製品を製錬して製造する予定です。本市でも6月から市役所に回収をスタートしました。市民の皆様のご参加をお待ちしています。

回収場所：武蔵野市役所1F総合受付、6F 企画調整課窓口、グリーンセンター内ごみ総合対策課窓口

回収品目：携帯電話、デジタルカメラ、ICレコーダー、携帯音楽プレーヤー、電卓、電子辞書、携帯ゲーム機

●グリーンセンター (☎ 0422-54-1221)

2017年4月より本格稼働の新しいグリーンセンターは、開館時間中(平日午前10時から午後5時まで)予約不要でどなたでも自由にご見学いただけます。ご希望日の2週間以上前までにご予約をいただければ、市職員がご案内することもできます。屋上には、生ごみ堆肥を使った菜園や廃材、埋土種子を活用した草地もでき、野菜や雑草が育ってきています。屋上も事前予約制でご案内いたします。新しくなったグリーンセンターにぜひお越しください。

●下水道課 (☎ 0422-60-1867)

近年、集中豪雨による浸水などの都市型水害が発生しています。このことから市では、浸水被害の軽減、水環境保全のため降った雨をゆっくり地中に浸透させる「雨水浸透ます」や、屋根に降った雨を溜めておき、庭の水やりや洗車、災害による断水時などに使うことができる「雨水貯留タンク」の設置を推進しています。新築、既設住宅ともに助成金制度がありますのでぜひご活用ください。詳細については下水道課までお気軽にご相談ください。

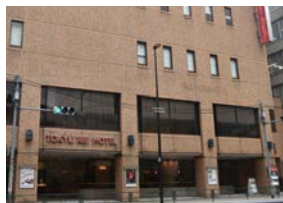
配布場所紹介



「みちまちみどり」は、武蔵野市役所西棟2階 緑のまち推進課、図書館、公共施設のほか、ご協力いただける店舗等でも受け取ることができます。配布場所を順次ご紹介いたします。なお発行後一定期間が過ぎましたら、その後は緑のまち推進課での配布になります。



多摩信用金庫 武蔵境南口支店
武蔵野市境南町 2-9-3
☎0422-32-2221
開店時間 9:00~15:00



吉祥寺 東急REIホテル
武蔵野市吉祥寺南町1-6-3
☎0422-47-0109



山梨中央銀行 吉祥寺支店
武蔵野市吉祥寺南町1-6-1
☎0422-48-8781

みちまちみどり Vol.28

2017年7月 第1刷発行

発行：武蔵野市

企画製作：一般社団法人 グリーンボード

編集：鈴木 圭子 / 牧野 桂子 / 森 海馬

小出 行規 / 横山 哲也

カット：木部 一樹

デザイン：坂本 太郎

問い合わせ

武蔵野市 環境部 緑のまち推進課

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

☎ 0422-60-1863

メール：SEC-MIDORI@city.musashino.lg.jp

緑のまち推進課の情報



◆井の頭恩賜公園開園100周年記念・市制70周年記念

『緑と水を守るんジャー!』

井の頭恩賜公園は2017年に開園100周年を迎え、武蔵野市は市制施行70周年を迎えます。これを機に、本市の「緑と水のネットワーク」について情報を発信するため、冊子『緑と水を守るんジャー!』を作成しました。

これまでの緑を育む取り組みや歴史、市内の身近な緑に対する様々な活動等、盛りだくさんの内容を掲載しています。マンガを活用したページと詳細な資料ページで構成し、キャラクターと一緒にストーリーが展開します。市内の小学生(3年生以上)に配布したほか、今後のイベント等でも配布予定です。楽しみながら読んでもらえる1冊になっていますので、ぜひ手にとってご覧ください!



◆芝生を元気に! ~ MUSASHINO GREEN 70th ~

芝のポット苗補植イベントを開催しました。

6月14日(水)に吉祥寺西公園で、6月17日(土)に境南ふれあい広場公園で開催し、市内外からたくさんの方に参加していただきました。親子での参加も多く、子どもたちに芝の成長について興味を持ってもらう良い機会となりました。

補植作業は、深さ5cm程度に掘った穴にポット苗を1株ずつおき、足でしっかりと踏みつけていく簡単なもので、参加者は楽しみながら熱心に取り組んでいました。

市では、このようなイベントを通して、芝の性質や管理について理解を深めてもらい、今後は、行政だけでなく皆で協力して芝生を育成していくことを目指しています。



境南ふれあい広場公園での様子。

むさしのみどり・環境まちづくりを応援しています。
三井住友トラスト不動産株式会社 住友林業株式会社